

独断

注目商品

REVIEW

設置楽ラク！ 強烈な光で害獣を撃退



■希望小売価格
シングルタイプ39,900円(税込)
ダブルタイプ58,800円(税込)

夜獣害防除威嚇機

5 激光A(ゲッコウエース)

■お問い合わせ

協和テクノ(株)

〒382-0028 長野県須坂市臥竜6-12-1

☎0262-451-438

http://www.sbiglobe.ne.jp/kyowwa/

作物を食い荒らされた、あるいはせつかく整備した圃場を掘り返された、など野生動物による被害報告はあとを絶たない。山林と田畑が入り組む中山間地は特に被害が深刻だ。手塩にかけて育てた野菜や果樹が、収穫間近の「食べ頃」に合わせて被害を受けてしまうと、笑って済まされないほどの死活問題となる。

イノシシやシカ、サル、クマなど害をもたらす動物の種類は多岐に渡るが、中には温暖化のおかげで積雪の影響を受けずに済み、分布域を拡大しているものもある。ハクビシン

入されたり、柵を壊されたりするケース向けに開発されたもの。同社によれば「夜間の被害に焦点をあて、光は強力に、音は騒音にならない程度、設置や持ち運びが楽で、電気柵の補助的な販売価格」といった点が重視されている。

まず大きな特徴は、その強烈な光だ。直径52mmの強力ストロボレンズを採用し、暗闇の中で1km先まで視認可能な閃光を照射。直視すると平衡感覚を失うほどで、動物たちの目をくらませると同時に、威嚇の役割を果たす。

加えて、オンオフ設定可能な超指向性サウンダーを搭載。動物たちが警戒して嫌がる「ピーツ」という甲高い音を、ストロボ発光と同時に20秒間発生させる。近隣に民家があつて音が出せない時には、設定をオフにすれば大丈夫だ。

さらにユーザーの声を反映させた新機能として、インターバル調節システムを追加。ストロボ発光と威嚇音の発生を、最短10秒〜最長3分30秒の間隔で任意に設定できるようになった。動物の出現頻度や生息密度に合わせて調整できるわけで、適用シーンの幅が広がったといえる。つまみをひねるだけの簡単操作で、頭をひねる必要はない。

また、バッテリー交換のタイミングがわかりやすいよう、ランプ表示機能も新たに加わった。「正常」「要充電」「バッテリー異常」の3段階表示で、電力残量を随時確認できる。なお、電源は12Vのカーバッテリーを使用。1回の充電で約20日間は使用できる。

そして何より嬉しいのは、維持管理にかかる作業コストの低さだ。設置方法は、支柱にさして立てるだけ。本体重量は900gと軽量で感電の心配もなく、持ち運びも片手で行なえる。電気柵を設置するような重労働はいらないのだ。

この製品をより効果的に使用するには、動物の種類を調べ、目線の高さに製品を設置するとよい。シカなら60〜120cm、イノシシなら30〜60cmが目安だ。そして設置後は、3〜7日周期で設置場所を移動させ、動物たちが慣れるのを防ぐ。移動距離は10m程度でもよく、逆にあまり遠くに動かすと効果が弱まるおそれがあるので注意したい。

仁義なき野生動物との戦い。しかし今年、彼らを見かけても心穏やかに過ごせる日がくるかもしれない。それにサクランボなどの果物を狙う狡猾なコソ泥の撃退にも、もしかしたら効果があるかも?! (下村理恵)